|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **別記様式第55**（第39条第２項関係）４　放射線管理状況報告書（許可廃棄業者） | 整　理　番　号　（注１） |  |  |
| 　　　　　年度　　放射線管理状況報告書（許可廃棄業者）年　　　　月　　　　日原　子　力　規　制　委　員　会　　殿氏　名　（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）　放射性同位元素等の規制に関する法律第42条第１項及び同法施行規則第39条第２項の規定により、次のとおり報告します。 |
| 氏名又は名称 |  |
| 法人にあつては、その代表者の氏名 |  |
| 住所 | 郵便番号（ ）都 道府 県電話番号（ ） |
| 許可証の年月日及び番号 |  |
| 廃棄事業所 | 名称 |  |
| 所在地 | 郵便番号（ ）都 道府 県電話番号（ ） |
| 連絡員の氏名（注２） | 所属部課名（ ）電話番号（ ）ＦＡＸ番号（ ）メールアドレス（ ） |
| １．施設等の点検の実施状況 | 実施回数 |  | 直近の実施年月日 | 年　　　　　月　　　　　日 |
| 点検の結果に基づいて補修等の措置を講じたとき又は講ずる予定のときは、その内容（注３） |  |
| ２．放射性同位元素等の廃棄の状況（注４） | 種類 | 可燃物(200Ｌ容器換算) | 難燃物(200Ｌ容器換算) | 不燃物(200Ｌ容器換算) | 非圧縮性不燃物(200Ｌ容器換算) | 無機液体(200Ｌ容器換算) | 有機液体(200Ｌ容器換算) | 動物(200Ｌ容器換算) | フィルター(200Ｌ容器換算) | その他(200Ｌ容器換算) |
| 受入数量 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |
| 払出数量 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |
| 保管数量 （注５） |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |  本 |
| ３．放射線業務従事者数（人） |  |
| ４．個人実効線量分布 | １年間の線量（mSv） | ５以下 | ５を超え15以下 | 15を超え20以下 | 20を超え25以下 | 25を超え50以下 | 50を超えるもの |
| 放射線業務従事者数（人） |  |  |  |  |  |  |
| ５．女子の放射線業務従事者の実効線量分布（注６） | 女子の放射線業務従事者数（人）（注７） |  |
| ３月間の線量（mSv） | １以下 | １を超え２以下 | ２を超え５以下 | ５を超えるもの |
| 女子の放射線業務従事者数（人） | 第一・四半期 |  |  |  |  |
| 第二・四半期 |  |  |  |  |
| 第三・四半期 |  |  |  |  |
| 第四・四半期 |  |  |  |  |

注　１　「整理番号」　この欄には、記載しないこと。

２　「連絡員の氏名」　ＦＡＸ番号及びメールアドレスについては、可能な範囲で記載すること。

３　「点検の結果に基づいて補修等の措置を講じたとき又は講ずる予定のときは、その内容」　様式中に書ききれないときは、「（詳細については別紙のとおり）」と記載し、別紙に記載すること。

４　「２．放射性同位元素等の廃棄の状況」　注３の例により記載すること。数量については、放射性汚染物の種類ごとに、欄中に記載された単位を用いて、小数第一位を切り上げて記載すること。

５　「保管数量」　期末において廃棄物貯蔵施設及び保管廃棄設備に保管されている本数を記載すること。

６　「５．女子の放射線業務従事者の実効線量分布」　３．放射線業務従事者数、４．個人実効線量分布の人数の内数とする。

７　「女子の放射線業務従事者数」　妊娠不能と診断された者、妊娠の意志のない旨を許可廃棄業者に申し出た者を除く。

備考１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　この報告書の提出部数は、１通とすること。ただし、第42条第１項の規定により当該報告書の提出に代えて電磁的記録媒体等を提出する場合においては、電磁的記録媒体１個及び電磁的記録媒体提出票１通とすること。